

社会科部門

総評

今年の社会科部門の作品は、地域調べ、リサイクル、バリアフリーなど、学校の授業で学習したことをテーマにした作品と、授業の範囲を超えて、選挙、株、難民問題などのテーマに挑戦した作品との研究テーマの難易度の二極化が見受けられました。
自由研究は好奇心を持って調べる、考えることが大切です。
身近な活動の中から興味のあることや疑問に思うことを見つけ、楽しく研究できそうなテーマを選びましょう。

賞 文部科学大臣奨励賞

点字と私たちのくらし

東京都 白百合学園小学校 3年

尾田 春菜

1年生の時から点字に興味を持っていた春菜さん。点字の五十音を覚え、身の回りにある点字を探します。調べて終わるのではなく、盲導大協会の行事に参加して目の不自由な人の生活を体験したり、厚生労働省が実施する手話教室に参加したり、そのほかいくつもの施設に出向いて、さまざまな活動を体験しています。さらには点字器を使って自分で点字絵本を作りました。
社会科から発展して、総合学習的なテーマへと広がっているすばらしい作品です。
今後は、障がいを持つ人は何を伝えたいのかなど、相対的な視点を持つことが良くなると思います。



日本の観光

東京都 白百合学園小学校 5年

樋口 風花

子どもの文化・教育研究所
理事長賞

海外旅行をきっかけに「観光」について研究を始めた風花さんは、まず日本に来る外国人旅行者数や宿泊地域、各国の旅行者の受入れ数など、さまざまな統計を調べます。次に、ツーリストインフォメーションなどで外国人向けのガイドブックや交通機関の割引運賃を調べたり、さらに発展して日本の世界遺産についてまとめられています。そして、さらなる追究のため、成田空港、浅草、秋葉原、銀座、京都で、26ヶ国108人（1）の外国人に街頭インタビューを行っています。
データを取り出して、背景を考えて、意見・感想をまとめたといった、今後の教育で重視されている力、「リテラシー」の高い作品になっています。



賞 日本社会科教育学会会長賞

街並みについての考察
「美しい街並みの条件とは」

東京都 東京学芸大学附属竹早中学校 3年

田代 沙絵

「景観に対して規制がないことが問題」である、というところから「美しい街並み」の研究動機としています。「美しい街並み」の定義や条件、つくるべきかを研究の目的としたうえで仮説を立てています。文献を調べるだけでなく、アンケート調査も行い、理論と織り交ぜながら答えを導きだした論理的な作品です。アンケートの内容も第三者にわかりやすくまとめてありました。
風土や気候、緑が街並みを形成するうえで重要な要素であることが見出した完成度の高い作品です。



様々な角度から調査をしています。鋭い考察が随所に見られました！

賞 中央出版株式会社社長賞

つくばみらいの田んぼアート
「田んぼアートって何だろう？」

茨城県 つくばみらい市立谷井田小学校 5年

高橋 沙彩・西村 晴香
中山 千聡・手嶋 帆南

身近にあった「田んぼアート」が何のために作られているのか疑問を持ち、意味的に調べるだけでなく、詳しく調べました。まず「田んぼアート」がどこに存在しているか調べ、過去の田んぼアートとの違いを見つけ出し、違いについて聞き取り調査をしています。その中で生まれた疑問を更に調査しているところから自ら学んでいく姿が見受けられました。田んぼの良さをもっと広げたいという気持ちがかがえる素敵な作品です。



田んぼアートを作っているグループへ聞き取り調査をしました！

賞 優秀賞

無農薬の米づくりは大変なのに
なぜやるのか？

静岡県 安東小学校 5年
本間 雄大

難民について考えたこと

東京都 白百合学園小学校 6年

三瀬 由香子

選挙ってどういうことをなってるの？

群馬県 ぐんま国際アカデミー初等部 3年

高柳 博樹